

田村豊氏著作目録（補正第七次稿）

（令和 4（2022）年 8 月 12 日（金）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	2
（改訂経緯）	2
I 略年譜	3
II 著作目録	3
(1) 著書	3
（参考 1）松華堂編纂『新警察練習書』（松華堂、昭和 9 年 3 月 20 日刊）の件	5
(II) 論説その他	6
（参考 2）『警察大学校史 幹部教育百年の歩み』での関係記述	10
（参考 3）昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料—北京駐在內務事務官検討（1）— 昭和戦前期警察史の一齣—	10
（参考 4）警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令和元（2019）年 10 月 1 日刊）の件	11
【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）	12
【関連事項】	13

(補正経緯)

平成 19 (2007) 年 3 月 1 日初稿作成

(HP 初載) : 補正第一次稿: 平成 19 年 8 月 3 日作成

補正第二次稿: 平成 19 年 12 月 21 日作成

補正第三次稿: 平成 20 (2008) 年 4 月 14 日作成

補正第四次稿: 平成 21 (2009) 年 1 月 17 日作成

補正第五次稿: 平成 21 (2009) 年 12 月 2 日作成

補正第六次稿: 平成 22 (2010) 年 4 月 7 日作成

補正第七次稿: 令和 4 (2022) 年 8 月 12 日 (金) 作成

(改訂経緯)

・本著作目録は、『高橋雄豹博士・田村豊氏・中原英典氏等略年譜・著作目録並びに『警察協会雑誌』資料一斑等—明治警察史雑纂 第二輯—』(平成 19 年 3 月 1 日刊、CD 版有。) 28~33 頁掲載の「田村豊氏略年譜・著作目録(初稿) —日本警察史研究者著作目録(2) —」を、改題の上、改訂しつつあるものである。

((HP 初載) 補正第一次稿: 平成 19 年 8 月 3 日作成)

・『警察法要論』(松華堂書店、昭和 7 年 8 月 30 日刊) の版数状況を補訂するとともに、誤植を一、二正した。

(補正第二次稿: 平成 19 年 12 月 21 日作成)

・「(参考) 松華堂編纂『新警察練習書』(松華堂、昭和 9 年 3 月 20 日刊) の件」関係記事を追加するとともに、全体を一、二補正した。

(補正第三次稿: 平成 20 年 4 月 14 日作成)

・全体を一、二補正するとともに、既載の(参考 1)、(参考 2) を再整理し、更に、(参考 3) 「昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料—北京駐在內務事務官検討(1) — —昭和戦前期警察史の一齣」を、便宜上掲載した(他日別稿にする予定)。

(補正第四次稿: 平成 21 年 1 月 21 日作成)

・『警察研究』昭和 8 (1933) 年分所載論稿その他を追加し、一部整理した。

(補正第五次稿: 平成 21 年 12 月 2 日作成)

・『自警』昭和 5 (1930) 年、昭和 6 (1931) 年及び昭和 7 (1932) 年分所載論稿(ただし、未見のものあり。) その他を追加し、一部整理した。

(補正第六次稿: 平成 22 年 4 月 7 日作成)

(参考) 警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』(警察政策学会資料・別刷。令和元(2019)年 10 月 1 日刊) 中に「第 2 編 第 2 田村豊氏著作目録」(118~128 頁) あり。

(令和 4 (2022) 年 8 月 12 日 (金) 追記)

・レイアウトを全面的に変更し、一部補正、追加した。

(補正第七次稿: 令和 4 (2022) 年 8 月 12 日 (金) 作成)

I 略年譜

- 明治 32 (1899) 年 9 月 19 日 栃木県安蘇郡犬伏町に生まれる。
- 大正?? (19??) 年 3 月 栃木県立佐野中学校卒業
- 大正 10 (1921) 年 3 月 広島高等師範学校英文科卒業
- 同 年 4 月 千葉県大多喜中学校教諭 (在職 2 年)
- 大正 12 (1923) 年 4 月 東北帝国大学法文学部入学 (傍ら中等学校に教鞭を執りし由)
- 大正 14 (1925) 年 11 月 高等試験行政科合格
- 大正 15 (1926) 年 3 月 東北帝国大学法文学部卒業
- 同 年 4 月 任福岡県属兼同県警部
- 昭和 3 (1928) 年 7 月 任地方警視、命岡山県警察部保安課長、叙高等官七等
- 同 年 9 月 叙従七位
- 昭和 4 (1929) 年 8 月 任警察講習所教授 (在任 3 年 8 ヶ月、本科第 15 期～第 18 期)
- 昭和 5 (1930) 年 10 月 陞叙高等官六等
- 同 年 11 月 叙正七位
- 昭和 6 (1931) 年 11 月 兼任内務事務官
- 昭和 7 (1932) 年 8 月初旬 発病、東京帝大附属病院に入院
- 同 年 12 月 陞叙高等官五等
- 昭和 8 (1933) 年 2 月 叙従六位
- 同 年 同月 刑事警察講習会で「贓物関係法」を講演 (在京最後の講演か。)
- 同 年 3 月 病氣再発
- 同 年 4 月 12 日 任地方事務官、補福岡県工場監督官調停官 (「追悼録」記事中には「工場課長兼調停課長」とする記述もあり。)
- 同 年 6 月 5 日 離京、同月 6 日 福岡県着任
- 同 年 9 月 21 日 三度発病、9 月 29 日 九州帝大附属病院に入院
- 同 年 11 月 25 日午後 10 時 30 分 逝去 (享年 35)

(註 1) 上記略年譜は、「故地方事務官 前警察講習所教授田村豊君追悼録」『警察協会雑誌』第 403 号 (昭和 9 年 2 月刊、38～49 頁) 冒頭履歴、各追悼文等に拠る。

(註 2) 逝去、追悼関連記事としては、例えば次のものがある。

- * 「田村豊氏の永逝」『警察協会雑誌』第 401 号 (昭和 8 年 12 月 1 日刊) 雑報 (89 頁) 参照。同号「編輯後記」(92 頁) に S 生 (編輯者佐藤進のこと) の追悼記事あり。享年 35。昭和 8 年 2 月にはまだ講演せしとの由。
- * 「故地方事務官 前警察講習所教授田村豊君追悼録」『警察協会雑誌』第 403 号 (昭和 9 年 2 月刊) 38～49 頁。田村氏の遺影あり。
- ・ 松井茂 (警察講習所顧問、大正 13 年～昭和 20 年 9 月 9 日) 「警察教育の犠牲者」38～39 頁
- ・ 出石於菟彦 (警察講習所教授 (教頭、昭和 7 年 3 月 31 日～昭和 10 年 1 月 9 日)) 「故田村豊君を憶ふ」39～42 頁

- ・数藤鉄臣（福岡県警察部長、1896～1994）「田村君の臨終まで」42～45頁
- ・金井佐久（前警察講習所教授（教頭、昭和4年7月8日～昭和7年3月31日））「故田村君を憶ふ」46～49頁
- ・『警察協会雑誌』第403号（昭和9年2月刊）82頁「編輯後記」にS生（編輯者佐藤進のこと）の追悼録編纂の辞あり。

（註3）遺影としては、例えば次のものがある。

*上記の他、『警察協会雑誌』第359号（昭和5年7月1日刊）口絵「警察談話会（昭和5年5月30日夜、於学士会館）」に、松井茂警察協会副会長、高橋雄豹警視庁警務部長等との集合写真あり。

II 著作目録

(1) 著書

昭和5（1930）年

・『現行警察法汎論』（大学書房、昭和5年11月27日刊。（昭和4年9月以来）警察講習所での警察法の講義案を補正したもの。改訂版：下記『警察法要論』）

【書評】渡正監「主要法令の系統と運用—田村教授の現行警察法汎論を読む—」『警察協会雑誌』第365号（昭和6年1月刊）

【広告】『警察協会雑誌』第364号（昭和5年12月刊）表見開きに広告あり。

昭和？（193？）年

・『日本警察史』（未見、警察講習所の講義案、詳細不明、維新以来の警察制度の沿革。下記『警察史研究』「小序」に同書を刊行した旨の記載あり。）

昭和7（1932）年

・『警察史研究』（良書普及會、昭和7（1932）年2月25日刊）

（註記）：第1編 警察制度史、第2編 警察史、第3編 警察法史、附録（225～279頁）：其の1 定札・覚札 他3篇、其の2 警察法規編年目録。「警察協会雑誌、警察研究、自警その他に登載したものに若干の新稿を加へて編輯したもの」（昭和7年2月20日付け「小序」）

【書評】松井茂「田村教授『警察史研究』を読みて」『警察協会雑誌』第382号（昭和7年6月刊）

【参考】「なにを読むべきか—警察法について」（ジュリスト5（昭和27年3月1日刊）34頁）（平成20年4月14日追加）

・『警察法要論』（肩書：警察講習所教授 法学士、松華堂書店、昭和7年8月20日印刷、8月30日刊（昭和11年6月2日刊の同書増訂五版奥付では何故か「7月8日発行」とある。))。

(註記)：本書は、上記『現行警察法汎論』の改訂版。この後、昭和8年3月2日再版刊、昭和9年4月10日三版刊。同書「序」の冒頭に、「本書は著者が昭和4年9月以来警察講習所に於て警察法を講ずるに当り使用したる講義案を補正し版に付したるものなり。」とある。その後、松華堂編纂『警察練習書』(上、下巻)(松華堂、上巻：昭和7年11月14日刊、下巻：昭和8年1月30日刊、編者：松華堂)及び同『新警察練習書』(松華堂、昭和9年3月26日〈ママ〉印刷、同年3月30日〈ママ〉刊、編者：松華堂編集部)に収録されている。詳しくは下記「(参考)松華堂編纂『新警察練習書』(松華堂、昭和9年3月20日刊)の件」参照。

(平成19年12月21日補正、平成20年4月14日再補正)

昭和8(1933)年

・『警察罰詳論』(田村豊・有光金兵衛共著、良書普及会、昭和8年9月22日刊。昭和8年3月16日付け「序文」あり。)

(註記)：田村氏のこの時点の肩書：警察講習所教授・内務事務官、有光金兵衛氏のこの時点の肩書：前警視、法学士。有光氏には『公文例規及公文例』(良書普及会、大正10年7月11日初版刊、昭和5年7月20日改訂版刊)をはじめ警察関係法に関して多くの著作あり。「有光金兵衛」とは誰ぞ¹。)

・『警察罰執行手続』(田村豊・有光金兵衛共著、良書普及会、昭和8年9月23日刊)(田村氏：同年11月25日福岡市で逝去。)

昭和10(1935)年

・『警察法要論 増訂版』(松華堂書店、昭和10年2月10日刊。上記『現行警察法要論』の増訂四版。この後、昭和11年6月2日増訂五版刊、昭和12年3月16日増訂六版刊(増訂六版：平成21年1月16日確認)) (平成19年12月21日追加、同21年1月17日再追加)

(参考1) 松華堂編纂『新警察練習書』(松華堂、昭和9年3月20日刊)の件

平成20(2008)年4月4日、とある古書展で、たまたま松華堂編纂『新警察練習書』(松華堂、昭和9年3月20日刊)を見かけた。これは、高橋雄豺「警察法大綱」を収録した草刈融著『註釈 警務全書(詳論篇)』(松華堂、明治44年5月9日刊、大正11年11月20日増訂32版刊、大正12年11月25日増訂44版刊)とよく似た構成の著書であって、その「総目次」には、「警察法(総論 各論)」があり、当該箇所には、「警察法要論」が収録されていて、頁数では、「総論 1-60 頁、各論 61-301 頁」とあった。ここで、思い出されることは、田村豊『警察法要論』(松華堂書店、昭和7年8月30日(又は7月8日)刊。『現行警察法汎論』(大学書房、昭和5年11月27日刊)の改訂版。この後、昭和8年3

¹ 本 HP 別稿「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村 豊氏著作目録」補遺—」(HP 初載：平成21(2008)年3月8日初稿作成)参照。 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>> (平成21年12月2日追加)

月 2 日再版刊、昭和 9 年 4 月 10 日三版刊、昭和 10 年 2 月 10 日増訂四版刊、昭和 11 年 6 月 2 日増訂五版刊、昭和 12 年 3 月 16 日増訂六版刊) のことである。題名も同じであり、例えば、増訂版ではあるが、同書増訂五版を見るに、「総論 1-60 頁、各論 61-301 頁」とあるので、おそらくや、田村 豊『警察法要論』をそのまま転用収録したものかと推測されたため、同年 4 月 12 日、改めて『新警察練習書』について一、二調べてみた。ただ、今回参照できたのは、いずれも電子資料のため、今一つはっきりしないが、大要は、以下のとおりである。

① 松華堂編纂『警察練習書』(上、下巻) (松華堂、上巻: 昭和 7 年 11 月 14 日刊、下巻: 昭和 8 年 1 月 30 日刊、編者: 松華堂) : 下巻に「警察講習所教授 法学士 田村豊『警察法要論』」の表示があって、同書(総論 1-60 頁、各論 61-301 頁)が収録されている。これで、田村氏の著書がそのまま転用されたことが判明する。ただし、全体の通し頁はない。

② 松華堂編纂『新警察練習書』(松華堂、昭和 9 年 3 月 26 日〈マ〉印刷、同年 3 月 30 日〈マ〉刊、編者: 松華堂編集部、広告不明) : 上記『警察練習書』(上、下巻)を増補の上一冊にしたもので、「総目次」に「警察法(総論 各論)」とあり、田村 豊『警察法要論』(総論 1-60 頁、各論 61-301 頁)が収録されているが、田村氏の著者表示はない(同氏は、その前年の昭和 8 年 11 月 25 日に逝去されている。)。これも、全体の通し頁はない。巻末広告は今回見たものでは確認できていない。

③ 松華堂編纂『新警察練習書』(松華堂、昭和 10 年 6 月 18 日増訂七版刊、編者: 松華堂編集部) : 「総目次」に「警察法(総論 各論)」とあり、田村豊『警察法要論』(総論 1-60 頁、各論 61-301 頁)が収録されているが、田村氏の著者表示はない。なお、同書奥付には、「昭和 9 年 3 月 16 日〈マ〉印刷、同年 3 月 20 日〈マ〉刊、同年 3 月 26 日再版刊、同年 5 月 10 日三版刊、同年 8 月 4 日四版刊、同年 10 月 10 日五版刊、同年 11 月 20 日六版刊、昭和 10 年 6 月 18 日増訂七版刊」とある。これも、全体の通し頁はない。巻末広告に、「松華堂編纂『註釈 警務全書』(第百三十五版)」が出ている。

なお、田村 豊『警察法要論』(松華堂、昭和 11 年 6 月 2 日増訂五版刊)の巻末広告では、松華堂編纂『註釈 警務全書』(第百四十版)とともに、松華堂編集部編『新警察練習書』(十版)が出ている。両書は、おそらく、上記二書(草刈 融著『註釈 警務全書(詳論篇)』、松華堂編纂『新警察練習書』)に繋がっているものと思われる。

(平成 20 年 4 月 14 日追加、同 21 年 1 月 21 日一部修正)

(II) 論説その他

昭和 5 (1930) 年

- ・行政警察規則管見 (1) 警察協会雑誌第 355 号 (昭和 5 年 3 月 1 日刊) 33~35 頁
- ・行政警察規則管見 (2) 警察協会雑誌第 356 号 (昭和 5 年 4 月 1 日刊) 32~35 頁
- ・行政警察規則管見 (3) 警察協会雑誌第 358 号 (昭和 5 年 6 月 1 日刊) 38~42 頁
- ・行政警察規則管見 (4) 警察協会雑誌第 360 号 (昭和 5 年 8 月 1 日刊) 39~43 頁
- ・行政警察規則管見 (5) 警察協会雑誌第 361 号 (昭和 5 年 9 月 1 日刊) 19~24 頁

(完結)

- ・英国警察制度の史的研究 警察研究第1巻第2号（昭和5年2月5日刊）109～118頁
（主要参考書について「警視庁警務部長高橋雄豹氏の御愛蔵の一冊を拝借した」ことに対する謝辞あり。未完？）
- ・北米合衆国警察制度小史（1） 警察研究第1巻第9号（昭和5年9月5日刊）89～102頁
- ・警察の時間的限界 警察研究第1巻第11号（昭和5年11月5日刊）23～28頁
- ・憲法と行政法（1） 警察新報第15巻第??号（昭和5年??月10日刊）（未見）
- ・憲法と行政法（2） 警察新報第15巻第7号（昭和5年7月10日刊）11～13頁
- ・懸賞学術論文実務論文 学術論文課題 出題者並選者 警察講習所教授田村豊 11月15日締切（問題：警察命令を以て所有権を制限し得るや） 警察新報第15巻第10号（昭和5年10月10日刊）102頁、同第15巻第11号（昭和5年11月10日刊）100頁等（発表：同第16巻第1号（昭和6年1月10日刊、本輯32頁））
- ・公共事業の料金認可制度に対する疑 警察思潮第3巻第1号（昭和5年1月5日刊）4～8頁
- ・法令雑俎（1） 警察思潮第3巻第3号（昭和5年3月5日刊）40～44頁
- ・法令雑俎（2） 警察思潮第3巻第4号（昭和5年4月5日刊）46～49頁
- ・法令雑俎（3） 警察思潮第3巻第5号（昭和5年5月5日刊）35～40頁
- ・法令雑俎（4） 警察思潮第3巻第6号（昭和5年6月5日刊）40～44頁
- ・法令雑俎（5） 警察思潮第3巻第7号（昭和5年7月5日刊）51～55頁
- ・警察法余論 警察思潮第3巻第9号（昭和5年9月5日刊）52頁（未見）
- ・検閲制度改善管見 自警第12巻第?号（1月号）（昭和5年1月?日刊）60頁（未見）
（平成22年4月7日追加）

昭和6（1931）年

- ・（警察講座）警察と行政訴訟法（1） 警察協会雑誌第365号（昭和6年1月1日刊）59～63頁
- ・（警察講座）警察と行政訴訟法（2） 警察協会雑誌第366号（昭和6年2月3日刊）72～76頁
- ・（警察講座）警察と行政訴訟法（3） 警察協会雑誌第367号（昭和6年3月2日刊）38～42頁
- ・（警察講座）警察と行政訴訟法（4） 警察協会雑誌第368号（昭和6年4月1日刊）54～59頁
- ・（警察講座）警察と行政訴訟法（5） 警察協会雑誌第370号（昭和6年6月1日刊）58～62頁（完結）
- ・サヴィエト・ロシアの国営映画の問題 警察研究第2巻第2号（昭和6年2月5日刊）77～86頁
- ・日本警察制度成立小史（1） 警察研究第2巻第5号（昭和6年5月5日刊）69～76頁
- ・日本警察制度成立小史（2） 警察研究第2巻第6号（昭和6年6月5日刊）83～88頁
- ・日本警察制度成立小史（3） 警察研究第2巻第11号（昭和6年11月5日刊）97～106頁

頁

・判例研究 警察判例批評（他の警察講習所教授と共同「担当者」となる。以下本人分を記載。）

・警察判例批評（1） 2 公安風俗を害する虞ありとの認定 警察研究第2巻第1号（昭和6年1月5日刊）119～124頁

・警察判例批評（2） 5 墓地新設の許可と其の適用規定 警察研究第2巻第2号（昭和6年2月5日刊）

・警察判例批評（3） 8 出訴期間経過後の行政訴訟 警察研究第2巻第4号（昭和6年4月5日刊）109～111頁

・警察判例批評（4） 11 営業の免許の拒否と成業の見込 警察研究第2巻第6号（昭和6年6月5日刊）98～104頁

・警察判例批評（5） 14 運転手免許の性質 警察研究第2巻第8号（昭和6年8月5日刊）106～108頁

・警察判例批評（5） 15 営業許可と第三者 警察研究第2巻第8号（昭和6年8月5日刊）109、110頁

・警察判例批評（6） 17 法定犯の犯意の成立と違法の認識 警察研究第2巻第10号（昭和6年10月5日刊）112～116頁

・学術論文懸賞募集課題 選後評 警察新報第16巻第1号（昭和6年1月10日刊）73、74頁（昭和5年第2回懸賞学術論文・実務論文当選発表、68～81頁）

・行政執行法序説 警察新報第16巻第5号（昭和6年5月10日刊）9～13頁

・警察史話（1） 警察思潮第4巻第4号（昭和6年4月5日刊）17～20頁

・警察史話（2） 警察思潮第4巻第5号（昭和6年5月5日刊）78～81頁

・警察史話（回数表示なし。） 警察思潮第4巻第6号（昭和6年6月5日刊）59～64頁

・警察史話（回数表示なし。） 警察思潮第4巻第7号（昭和6年7月5日刊）67～69頁（完か。）

・営業免許の許否と成業の見込 警察思潮第4巻第9号（昭和6年9月5日刊）13頁（未見）

・シカゴ市の検察情態 自警第13巻第137号（昭和6年1月1日刊）51～53頁（平成22年4月7日追加）

・帯刀禁止令の出づるまで 自警第13巻第140号（昭和6年4月10日刊）58～62頁（平成22年4月7日追加）

・明治上半期に於ける東京府と警視庁との権限争議（上） 自警第13巻第143号（昭和6年7月10日刊）24～27頁（平成22年4月7日追加）

・明治上半期に於ける東京府と警視庁との権限争議（下） 自警第13巻第144号（昭和6年8月10日刊）102～105頁（平成22年4月7日追加）

昭和7（1932）年

・日本警察制度成立小史（4） 警察研究第3巻第2号（昭和7年2月5日刊）99～106

頁（完結）

- ・警察罰管見（1） 警察研究第3巻第8号（昭和7年8月5日刊）29～36頁
- ・営業免許の許否又は取消と権利の侵害 警察思潮第5巻第1号（昭和7年1月5日刊）16頁
- ・行政警察と司法警察 警察思潮第5巻第4号（昭和7年4月5日刊）10頁
- ・警察判例批評（8） 18 徴収処分と賠償金 警察研究第3巻第1号（昭和7年1月5日刊）97～100頁（「警察判例批評（7）」は欠番。）
- ・警察判例批評（8） 19 遺失小切手と報労金 警察研究第3巻第1号（昭和7年1月5日刊）100～104頁
- ・警察判例批評（9） 21 納屋入問題と警察犯処罰令 警察研究第3巻第3号（昭和7年3月5日刊）83～90頁
- ・警察判例批評（10） 23 営業免許に附したる条件の当否 警察研究第3巻第5号（昭和7年5月5日刊）89～96頁
- ・警察判例批評（11） 25 一路線一営業主義と競願 警察研究第3巻第7号（昭和7年7月5日刊）93～102頁
- ・警察判例批評（12） 警察研究第3巻第9号（昭和7年9月5日刊）、警察判例批評（13） 警察研究第3巻第11号（昭和7年11月5日刊）には、「担当者」名にはあるが、執筆はなし。
- ・治安警察法の制定まで（1） 自警第14巻第149号（昭和7年1月？日刊）？～？頁（未見）（平成22年4月7日追加）
- ・治安警察法の制定まで（2） 自警第14巻第150号（昭和7年2月10日刊）36～40頁（平成22年4月7日追加）
- ・治安警察法の制定まで（完） 自警第14巻第151号（昭和7年3月10日刊）42～44頁（平成22年4月7日追加）

昭和8（1933）年

- ・警察罰管見（2・完） 警察研究第4巻第2号（昭和8年2月5日刊）45～62頁（平成21年12月2日追加）（平成21年12月2日追加）
- ・警察判例批評（14） 警察研究第4巻第1号（昭和8年1月5日刊）には、「担当者」名にはあるが、執筆はなし。（平成21年12月2日追加）
- ・警察判例批評（15） 32 警察犯処罰令第二条第十一号の主旨 警察研究第4巻第3号（昭和8年3月5日刊）85～90頁。「警察判例批評」寄稿はこれが最後か。（平成21年12月2日追加）

（田村氏：同年11月25日福岡市で逝去。）

（調査中）

- ・その他、『警察新報』（未見分）、『警察思潮』（未見分）、『自警』（未見分）、警察講習所学友会の『学友会々報』等になお多くの寄稿ありとの由であるが、現在未調査。なお、『学友会々報』関連について、下記（参考2）参照。

(参考 2)

『警察大学校史 幹部教育百年の歩み』での関係記述

・警察大学校史編さん〈ママ〉委員会編集『警察大学校史 幹部教育百年の歩み』（警察大学校学友会、昭和 60 年 3 月 25 日刊）「第 9 節 中期の教授科目」（70～71 頁）に、田村教授の警察講習所本科第 18 期（自昭和 7 年 4 月 1 日 至同 8 年 3 月 25 日）の担当科目（第 2 部 基礎法学 警察法一般 80 時間、第 4 部 警察実務 第 1 警察史及外国警察制度 警察史 18 時間）の記載あり。

(参考 3) ²

昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料—北京駐在內務事務官検討（1）—
—昭和戦前期警察史の一齣—

（平成 20 年 5 月 1 日初稿、平成 21 年 1 月 21 日改訂稿）

1 海外駐在內務事務官関係文献

- ・大霞会『内務省史』第 2 卷（財地方財務協会、昭和 45 年 11 月 1 日刊。原書房覆刻本：昭和 55 年 7 月 30 日刊）753、754 頁に「海外駐在事務官」の記載あり。
- ・大霞会『内務省史』第 4 卷（財地方財務協会、昭和 44 年 11 月 1 日刊。原書房覆刻本：昭和 55 年 9 月 30 日刊。下記『戦前期日本官僚制の制度・組織・人事』等が本書に言及するも、ここには記載がないのかも？）
- ・戦前期官僚制研究会編・秦郁彦（1932～）著『戦前期日本官僚制の制度・組織・人事』（東京大学出版会、昭和 56 年 11 月 30 日刊）（「主要官職の任免変遷」内務省・内務省海外駐在官（354、355 頁））
- ・長井純市（1956～）「海外駐在內務事務官について—戦前期警察行政の一側面—」『年報・近代日本研究』12（山川出版社、平成 2 年 11 月 5 日刊）182～210 頁
- ・秦郁彦著『日本官僚制総合事典 1868-2000』（東京大学出版会、平成 13 年 11 月 1 日刊）（「主要官職の任免変遷」内務省・内務省海外駐在官（113、114 頁））
- ・秦郁彦編『日本近現代人物履歴事典』（東京大学出版会、平成 14 年 5 月 20 日刊）

²（参考 3）は、その後、本 HP 別稿「北京駐在內務事務官検討一斑 —昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料等— —昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料等—」（HP 初出：平成 21 年 11 月 3 日初稿作成）に改稿した。（<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>）（平成 21 年 12 月 2 日追加）

2 警察講習所学友会北京支部関係文献

・『警察講習所学友会々報』第 23 号（警察講習所学友会、昭和 13 年 7 月 30 日刊）

教頭 鈴木登「講習所の昨今」（（学友会北京支部の設立）、30、31 頁）、「雑報 警察講習所学友会北京支部の設立にあたって」（85～87 頁）

・『警察大学校史 幹部教育百年の歩み』（財警察大学校学友会、昭和 60 年 3 月 25 日刊）
第 5 章 警察講習所 第 8 節 外国人留学生制度（67～70 頁）

（参考 4）警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令和元（2019）年 10 月 1 日刊）の件

同書中に「第 2 編 第 2 田村豊氏著作目録」（118～128 頁）あり。

（令和 4（2022）年 8 月 12 日（金）追記）

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 12 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>〉
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>〉
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>〉
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>〉
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>〉
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>〉
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」（本稿）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

【関連事項】（令和4年8月12日追加）

- ・法制史学会： 〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館： 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）
〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

（了）